

- 1 だいちくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは一ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字きけて書きはじめ、だんらくごとくにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ ）月 日 曜日

ア、カ、ツと手に入れた達成感

永田小学校 五年 大岸田 温音

ぼくは、店の中でおやつを買って来た。あ
 したは、遠足でたいこ岩に登る。ぼくは、ワ
 ワワワしながろ家へ急いで帰った。そしてい
 つもはみないニユースをつけた。しかしそわ
 ワワワワが消えそりになった。明日は雨だっ
 た。次の日、ぼくはとびおきた。まどを見て
 も思ったとおりくもりだ。キレイな青空を見
 せこく木ない。それでもワワワワしながろ、

学校へ行った。ぼくはバスでスタート地点へ
 行き登り始めた。小しかし小雨がふつてきて、
 きりもでだした。まるでぼくたちをいやまし
 ているようだった。とても森はしずかだった。
 小雨の落ちる音しか聞きとれない。たまに鳥
 の声がしたり、川が流れる音が聞こえる。そ
 んな中、どんどん登った。正直とてもきづか
 った。けれど、どうにかかついとうげの近く
 まで来た。そしてお昼を食べる事になった。
 そしたらろ先生が「きつい人は下りていいよ。」

- 4 と、は、それぞれ一字にかせて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいまくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは一きようめに書き、文しようは一きようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくごと一きようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ ）月 日 曜日

と言ました。ぼくは、この言葉たつちれそうになつたが登ると決めた。おかしを頂上で食心たかつたわで少しのこしておきました。のぼつてみると、下とぼまつたくちがうけしきか広がつていた。氷できを著ているコケ、にじのよりにかかやいている葉。とても下とはちがうけしきわおかげが足がかるく感じた。そして頂上は、とてもしんひてきだつた。くもにかつまれていてなんとも言えなけしきだ。手をのぼせばとどきそりなくちい近つた。頂上へのぼりきたからか心のそこがろ達成感があふれでてきた。ぼくはくもりでまかつたと思つた。そしてぼくは友達と笑つて下山していった。なぜか足どりはがるく感じていた。みんなと遊ひながら下山していった。その次の日は休みだつた。日記はもちろん遠足のことを書くつもりだ。いま思うところしたらよかつた。とてもポソポソ思いついてくる。とてもうれしくて楽しかつた。たぶんこわ思い出はあすれない気がす

- 4 と、とは、それぞれ一字にぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてきようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいまくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しようは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくごとぎようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

(月 日 曜日)

する。もしわすれたらもう一回のぼって「小
 っちやいころのぼったなあ」と思い出した。
 とてもきつがったけど、その分、よろこびや
 楽しみがあった。遠足だった。

- 4 と、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましょう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなだけを書きましょう。

(不許複製)

